

京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業

※本チラシは予告です。内容変更の可能性がありますので、必ず正式募集案内をご確認ください。

国内人口の減少に伴う人材不足や国内市場の縮小、サプライチェーンのグローバル化に伴う原材料価格の高騰など、複雑化する経営環境に対応するため、より付加価値の高い製品・サービスの創出を通じて経営基盤の強化を図るとともに、急速な技術革新により市場の成長が著しい産業分野（以下、「成長分野※」）へ積極的に挑戦する京都府内の中小企業を支援します。

※成長分野 … 本事業ではAI・半導体、資源・GX（グリーン・トランスフォーメーション）、創薬・先端医療、コンテンツの4分野を指し、いずれかの分野に係る取組については企業間連携グループによる取組も支援します。

【募集期間】令和8年**3月30日**（月）～**5月14日**（木）

【補助期間】交付決定日※～令和9年**1月29日**（金）

※事前着手が認められた場合はR8/3/30～可（旅費、直接人件費を除く）

補助対象者

- A) 京都府内に本事業に係る製品開発、生産、営業等の事業活動を遂行する拠点を有する中小企業者
- B) Aの中小企業者を代表企業とし、構成企業が1社以上参画する企業グループ※
※申請事業が成長分野に係る取組であることが必須

A 中小企業単独

対象事業（共通）

B 企業グループ

【Ⅰ 事業創生コース】

勉強会、研究会、セミナー、ワークショップ、市場調査、その他の調査、要素技術の可能性検証、技術研修等、事業計画段階で必要となる取組

【Ⅱ 事業化促進コース】

高付加価値化のための試作品・サービス等の開発、テスト販売等による本格的な市場調査・販路開拓等（本コースの資金支援規模で実現可能な小規模開発・事業展開案件も歓迎します）

【Ⅲ 本格的事業展開コース】

実用化に向けた応用研究・生産技術開発、量産設備投資（生産体制の構築、販売・サービス提供の拠点整備等）、それらと連動した販路開拓等（広報、需要開拓等） ※開発の実績・取組の蓄積等が十分にあることが前提

補助上限額

※いずれも1グループ当たり

【Ⅰ 事業創生コース】 **100**万円以内

【Ⅰ 事業創生コース】 **200**万円以内

【Ⅱ 事業化促進コース】 **1,000**万円以内

【Ⅱ 事業化促進コース】 **2,000**万円以内

【Ⅲ 本格的事業展開コース】 **3,000**万円以内

【Ⅲ 本格的事業展開コース】 **6,000**万円以内

補助率（共通）

補助対象経費の**1/2** 以内（土地造成費、建物建設費、本格的な生産・販売設備は15%以内※）

※Ⅱ 事業化促進コース、Ⅲ 本格的事業展開コースのみ対象

対象経費（共通）

- ①旅費※、②直接人件費※、③材料費・消耗品費、④財産・備品購入費等、⑤外注・委託費、⑥大学等研究機関との受託（共同）研究費、⑦その他直接経費

※事前着手日から交付決定日までの間の「旅費」と「直接人件費」は補助対象外となります。



想定事例(あくまでも例示であり、様々な取組をお待ちしております)

I 事業創生コース

<中小企業単独>

・熟練者ノウハウの承継と検査精度向上のための、自動外観検査システム構築に向けたデータ収集

・海外富裕層向け新商品開発のための、モニター調査及び原材料・デザイン等の検討

<企業グループ>

・半導体製造装置部品の耐久性向上に向け、金属の精密加工技術と表面処理技術を組み合わせ、加工・表面処理条件の最適化検討及びデータの収集

(AI・半導体分野)

・医療現場におけるVR教材開発に向け、医療機器メーカーとVR制作会社が手を組み、臨床シーンの再現シナリオ設計とプロトタイプを検証

(コンテンツ分野)

II 事業化促進コース

<中小企業単独>

・職人の手作業で仕上がりがまばらである溶接工程に、ロボットをテスト導入し、省人化と品質安定を実現

・iPS細胞を用いて、創薬プロセスを短縮しながら、革新的な製剤の生成及び効果検証

<企業グループ>

・低風速時の発電量不足を改善するため、ブレード製造メーカーが流体解析企業と連携して、高効率ブレードの試作と性能の向上を検証

(資源・GX分野)

・半導体洗浄装置メーカーが微粒子付着による不良率改善を図るため、化学薬品メーカーと連携して高純度洗浄工程プロセスを構築し、精度の向上を検証

(AI・半導体分野)

III 本格的事業展開コース

<中小企業単独>

・カメラと画像判別を導入し、汚れ具合に応じて清掃を実施し、業務効率化と清掃品質向上を実現

・量産用・低価格工作機に独自治具を取り付けて、単品用・高価格工作機並の性能を発揮する生産システムの実現

<企業グループ>

・光学機器メーカーと画像解析企業が共同開発した創傷可視化デバイスの量産モデルを確立し、治療精度向上と医療現場の業務効率化を実現

(創薬・先端医療分野)

・電力会社とAI・IoTセンサーの開発企業が連携し、太陽光設備の故障予兆を可視化する監視システムを構築することで、設備保守の高度化と稼働率の向上を実現

(資源・GX分野)

お問合せ先

京都府商工労働観光部産業振興課(電話:075-414-4851)
〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

※本事業は国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して実施しております。